

【小施策評価(平成29年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	4	人が集い活力を生むまちづくり	小施策 主管課等	文化国際室	
施策	28	国際化の推進	評価 責任者	佐藤 篤	内線 2110
小施策	28-1	国際交流の推進	評価 シート 作成者	山内 真澄	内線 2111

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
国籍や文化などの違いに関わらず、すべての市民がお互いの文化的背景や考え方を理解し、共に暮らし支え合う地域社会の実現に向けて、(公財)盛岡国際交流協会をはじめとする民間団体と協働で国際相互理解と国際友好親善の促進を図っていく必要がある。	市民の国際理解を深めて国際感覚を養うとともに、市民主体の国際交流活動の支援を行うことにより、国籍や文化の違いを越えた相互理解に対する市民意識の醸成を図りながら、地域社会で共に暮らす外国人の支援体制の充実につなげる。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
市民, 外国籍市民	国籍や民族,文化など異なる人々が互いの違いを認め合い、共に生きていこうとすることにより、相互理解が図られる。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成29年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
指標	単位	目指す方向	成果点	成果の要因分析	問題点
指標① まちづくりアンケート調査「この一年間に国際交流に参加したことがある」と答えた市民の割合	%	↗	<p>・市民の割合は前年比と同じであった。</p> <p>・平成25年度調査と比較すると0.5ポイント上昇している。</p>	<p>・盛岡国際交流協会が実施している各種講座やイベントは、ほとんど定員を満たして開催している。</p> <p>・盛岡国際交流協会が新規事業として、賛助会員と外国籍市民の交流会を開催した。</p> <p>・在カナダ日本大使館の特命全権大使の来盛に合わせ、特別講演会を開催するほか、経済・教育関係者等との意見交換会を開催することができた。</p>	
当初値 (H25) 2.6					
H31目標値 3.8					
H36目標値 5.0					
指標② 盛岡国際交流協会賛助会員数(個人)	人	↗	<p>・昨年度は1人で50口参加された方がいたので、前年度比61口の減少ではあるが、平成25年度調査と比較するとほぼ横ばいである。</p>	<p>・賛助会員には、機関紙や各種講座などの開催案内を発送したり事前申込みや参加料に特典を設けているため。</p> <p>・中学生ビクトリア市研修や各種講座に参加した方に、新規加入の勧誘を行った。</p>	
当初値 (H25) 126					
H31目標値 132					
H36目標値 139					
指標③ 盛岡国際交流協会賛助会員数(団体)	人	↗	<p>・1年更新であり、中学生ビクトリア市研修生や各種講座の受講者に呼びかけ、加入いただいても、更新時に継続していただけない場合がある。</p> <p>・中学生ビクトリア市研修生や各種講座の受講者等以外で、新規に加入する人がほとんどいない。国際交流協会の賛助会員が随時受付可能であることが認知されていない。</p>	<p>・国際交流協会の事業内容が固定化しており、また、賛助会員の特典に対する魅力が薄れていると思われる。</p> <p>・国際交流協会の活動が認知されていないと思われる。</p>	
当初値 (H25) 19					
H31目標値 28					
H36目標値 38					

今後の方向性(平成30年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	<p>★…30年度着手済または着手予定</p> <p>☆…31年度以降の着手を検討</p>
<p>★ 魅力ある国際交流協会事業の展開と情報発信をする。</p> <p>★ ホストタウン機運醸成事業により、異文化について知る機会や外国人と交流できる機会を提供し国際感覚の醸成を図る。</p> <p>☆1 国際交流に関わる人口の拡大を図るため、多文化共生・理解に取り組むこととし、市や盛岡国際交流協会として、例えば外国籍市民を交えた防災訓練など市内で暮らす外国籍市民のための生活支援となる事業・体制を検討する。</p>	<p>★ 賛助会員にとっても魅力ある事業展開と情報発信を検討する。</p> <p>★ ホームページのリニューアルを図り、広く情報発信する。</p>
<p>★ 会員向けサービスの充実など、賛助会員にとっても魅力ある事業展開と情報発信を検討する。</p> <p>★ ホームページのリニューアルを図るほか、ホームページ、フェイスブックやマスメディアを通じた情報発信の強化による協会の活動周知と理解促進に取り組む。</p> <p>☆1 賛助会員の特典の検討</p>	